平成24年度 実施計画作成・事務事業評価(事後評価)シート

L	巫平尹尔												
	部等名	教育部		課等名	生涯	学習課	記	八者名	名	﨑迫真	地	内線	805
	事務事業名	市町村による	る青少年劇	場		事業期	間	平成	18	年度	~ 平	成	年度
4	総合計画上の 位置付け	基本方針	歴史と文化の薫りが暮らしを彩る教育と住民自治のまちづくり										
,		施策	文化の振	興									
		細 施 策	文化活動	の推進									
	根拠法令・条例、関連計画等												
	予算細々目々			会	計	款	項	目	細目				

予算細々目名会計 款 項 目 細目青少年文化活動費(青少年劇場委託料)01 10 06 03 001

2 事務事業の目的(何のためにするのですか)

児童青少年に、生の優れた児童演劇の舞台を鑑賞する機会を提供することにより、心豊かで創造的な精神の醸成など情操の形成を目的としている。

3 事務事業の概要

H23年度の事業概要	H24年度の 事業概要・計画	H25年度の事業計画	H26年度の事業計画
公演委託料:735千円 公演 10月17日 下水流小学校 下水流・荘小学校 児童280人 保護者20人 11月18日 東出水小学校 東出水・上場・大川内小学校 児童297人 保護者10人	公演委託料367千円 11月2日 野田小学校 児童235人 ※野田幼稚園も同時鑑賞 園児38人 公演委託料367千円 11月9日 米ノ津東小学校 児童405人 ※切通小学校同時鑑賞 児童32人	①出水小学校 ②高尾野小学校	①米ノ津小学校 ②江内小学校 ※蕨島小学校も同時鑑賞

4 事務事業の対象・手段・意図

* ** * * * * * * * * * * * * * * * * *	
対象(誰・何に対して行う事業ですか)	手段(対象に対してどのような活動を行うのですか)
市内小学校 児童	劇団を学校へ招聘し、生の優れた児童演劇を鑑賞する機会を提供する。

意図(活動により対象をどのような状態にしたいのですか)

児童青少年の豊かな心、創造的な精神の醸成など情操の形成を図り、演劇という文化に直接触れることで、芸術文化に関心を持ってもらう。

事務事業評価(事後評価) 1<u>指標の推移</u>

IX.	区分	指	標	名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度		終目標
	.),	111		4 1		実績	目標	目標	目標	年度	目標値
活動	(I)	演劇等の	舞台鑑賞		□	2会場 各1回	2会場 各1回	2会場 各1回	2会場 各1回		
指標	2										
果	1	子供たちの	の関心・	満足度	%	100	100	100	100		100
指標	2										

- ※ 活動指標・・・事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)
- ※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

2)	評	価
		成果指標	又は実施計画の意図を向上させる余地はないですか
		□ない	理由
	有効	■ ある	鑑賞機会が、在校中に1回となっていることから、低学年時と高学年時の鑑賞では、感じ方が大きく異なる。鑑賞機会を増やすことも検討しなければならない。
	性	廃止・休	止した場合の影響はありますか
	14	■ ある	理由 児童青少年の豊かな心、創造的な精神の醸成の形成を目的として実施している事業であり、生
		-	演劇を鑑賞する機会がなくなることは、大きな影響があるものと考える。
			を下げずにコスト削減の余地はないですか がない場合は、単純にコスト削減について記入してください)
		■ない	理由 日本児童演劇協会が日本芸術文化振興基金の助成を受けて行われる事業であり、他市町村と共
		□ある	することで安い公演委託料で実施することができているもので、これ以上のコスト削減は見込めい。
	効	類似事業	の有無と統合の可能性はないですか(市以外の取組含む)
	率		理由

		□ ある	v.					
	効			はないですか (市以外の取組含む)				
	率	'Y (.	理由					
	性	□ある	類似事業なし					
		市と受益	者との負担割合は妥当	ですか(受益者負担がある場合に記入してください)				
		□はい	理由					
		□ いいえ	受益者負担なし					
	7.	他の市町	村では実施している事業	業ですか(県内の他市の状況等を具体的に記入してください)				
	その他	平成 2 4	年度は、本市以外に97	市2町で実施する。				
3		今後の方	可向性、改善案等(一次評価)				
	4	今後の方向	性(総合評価)	方向性の理由、改善案等				
		□ 拡大 □ 統合・約	■ 継続 □ 改善 窟小 □ 廃止・休止	現在でも、児童が在校する6年に1回の割合でしか実施できない状況であり、生の演劇に直に触れることで、豊な心が育まれることから継続とする。				
4			可向性、改善案等(二次評価)				
	4	今後の方向	性(総合評価)	方向性の理由、改善案等				
		□ 拡大 □ 統合・約		一次評価と同様に継続とする。				
5				最終評価)				
	1	今後の方向	性(総合評価)	方向性の理由、改善案等				
		□ 拡大□ 統合・約	■ 継続 □ 改善 窗小 □ 廃止・休止	二次評価と同様に継続とする。				